

下水道不明水対策等への支援について

【提案先】 国土交通省

1. 提案内容

下水道事業の推進への支援

○今後改築更新のピークを迎える、昭和50年代に急ピッチで進めてきた下水道施設の老朽化対策、汚水処理施設の概成、雨水対策や地震対策等へ向けた施設整備への財政支援。

不明水の発生抑制、被害軽減策の確立

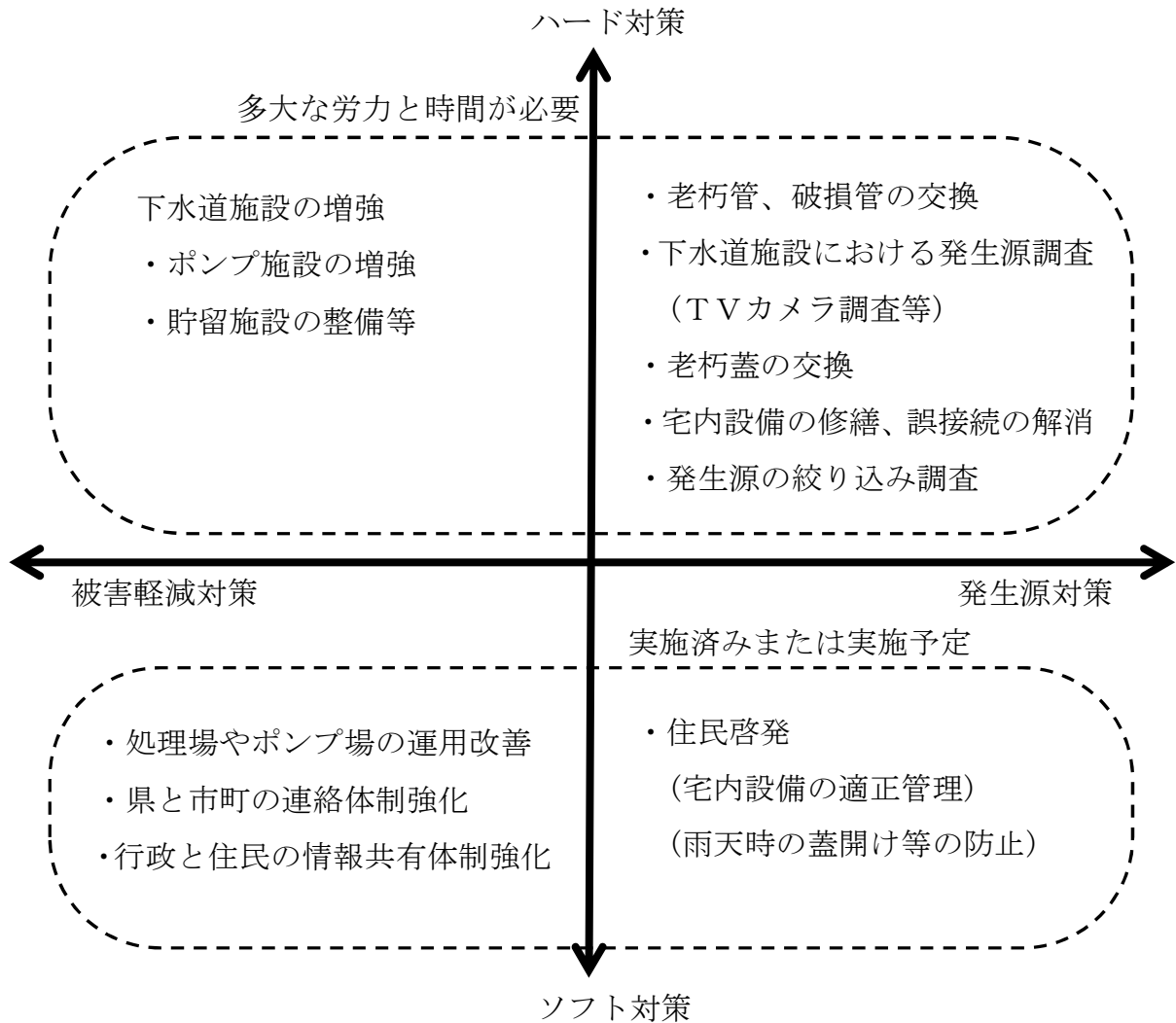
- 広域かつ多数にわたると予想される不明水の発生源に係る効果的な対策手法の確立。
- 不明水にかかる実態調査や発生源対策を踏まえた上で、下水道施設の増強等による被害軽減のあり方の検討。
- 発生源対策や下水道施設の増強に係る支援。

2. 提案の理由

- 本県の下水道普及率は87.9%となっているが、今後ピークを迎えると予測される老朽化対策、汚水処理整備、雨水対策・地震対策等の事業が必要。
- また、本県では、昨年9月の台風18号の豪雨により流域下水道にも大量の雨天時浸入水（不明水）が流入し、下水道施設被害や、汚水の溢水が発生した。
- このことを受けて、地元市町や住民からの強い要望もあり、流域下水道を構成する県と市町で「滋賀県下水道不明水対策検討会」を立ち上げ、不明水の発生源対策や不明水被害軽減対策を検討しているところ。
- 一方、これまで整備してきた下水道施設は膨大であり、下水道を利用している県民は39万世帯にもなるため、対策には多大な労力と時間を要する。

(本県の取組状況と課題)

- ・本県で取り組んでいる「滋賀県下水道不明水対策検討会」では、不明水の発生源対策と被害軽減対策について、それぞれハード面、ソフト面から取り組んでいる。
- ・ソフト面での対策は実施しつつあるが、ハード面での対策には多大な労力と時間を要するため、部分的な実施にとどまっている。



不明水対策検討会開催状況

